

しゅうきょう かがく  
宗教と科学

— しょうぼう ふしぎな  
— 正法に不思議無し

めいもう い  
迷妄を出でる—

(二版)

しゅうきょう やくわり きゅうさい

宗教役割 救済ならん

しゅうろうびよう し ぜつたいく

生老病死 絶対苦

し く  
四苦

あいぞう が しゅう ふんべつ く

愛憎我執の分別苦

あいべつりく

おんぞうえく  
怨憎会苦

なんぼつ

難拔なりとも直視して

ぐふとつ く

ごうんじょうく  
五蘊盛苦

いのち

生死を生かすを担うべし

かがく おも やくわり

科学の主な役割は

けいけん

経験された相対苦

げんいんさが

原因探して特定し

こくふく

その克服にこそ役立てん

ひんこん さべつ

貧困差別が人為となれば

えいち

それを英知で解決すべし

しゅうきょうただ

宗教正しく願うべし

めいしん かいしやう  
迷信の解消

かがく

科学も人の心で活かす

りんり かくりつ  
倫理の確立

りやうしや

両者の併存心せん

宮城県大崎市

瑞川寺住職

木村謙文